

認定 NPO 法人ドネーションシップわかちあい < 使途指定・寄付プロジェクト >

「おかえり応援プロジェクト」

～どんなに しんどくても お腹いっぱいになれば なんとかなる。～

▼「ごはん処 おかえり」は大阪・豊中市の下町にあります。おかえりの「おかん」こと、店主の上野敏子さんが2019年にオープンしました。

もともと路上生活をしている人への炊き出しや、月に一度は地域で子ども食堂を開いていました。しかし本当に支援が必要な人に、支援が届きにくい現実があり、地域の仲間と「困っている人」「しんどい人」の支えになる飲食店をやってみようと、この場所をつくられました。

「おかえり」では20歳以下の子どもはいつでも無料でごはんが食べられます。大人もお金がなくて困った時には、支援者からの「お福分け」の仕組みでご飯を食べることができます。コロナ以降、お店はテイクアウト専門となりました。お店には毎日上野さん手作りのお惣菜が並びます。



～お腹がすいたら 食べにおいで。しんどい人は 食べにおいで。～

▼上野さんの思いが込められたお惣菜が、今困っている、悩んでいる、しんどい思いをしている子どもたち、高齢者や地域の人たちの支えになっています。支援の網の目から抜け落ちた人たちも、お惣菜を通じて人とつながる。ひとりじゃないと感じられる。抱えていた不安や悩みを相談できる。誰もが気軽に立ち寄れる、心のよりどころ、お腹も心も満たされる居場所です。

オープン5年目の2023年9月に訪問してお話を聞きました。この夏、給食がなくなる夏休みに、近くの公共施設で毎日無料のお弁当を配布されました。多世代の方も交えて徐々に人数が増え行列ができ、一日150食になった。若いママから「子どもに食べさせるのが精一杯で、自分のものを用意することが出来ない。助かりました。」という声が寄せられたそうです。そうしたお母さんたちは少なくありません。



店主の上野さん (右側)

▼子どもの貧困に関する内閣府の全国調査(2021年)で、「過去1年間に必要な食品が買えなかった経験」が調査されています。収入が中央値の半分未満の世帯では(必要な食品が買えなかった経験が)「よくあった」と「時々あった」を足すと18.4%になり、「まれにあった」を足すと37.7%になります。ひとり親、母子世帯での割合は30%を越えています。

お金がないから食品が買えない、お金がないからごはんが食べられない。夏休みに給食がなくなると子どもたちが痩せる。日常的にお腹をすかせている子どもたちがいる。それがこの国の現実です。いったい日本の社会はどうなっているんだ!と思います。

▼店の赤字から値上げを考えたこともあったそうですが、いのちを支えるごはんを担っていると値段は据え置き、子どもは無料を買い取られます。運営はやっぱり赤字ですが、全国の支援者からの寄付金や食品の寄贈などで何とかやりくりされています。上野さんの心意気に共感する小さな一人一人の支えあいの気持ちが、このいのちの拠点を支えています。(夏休みのお弁当配布は総数2500食、お米260キロ、お弁当作りも配布もボランティアの協力で行われました)。私たちも出来ることをさせてもらいたい!と「おかえり応援プロジェクト」を始めました。

「おかえり応援」のために、当会が窓口になり寄付を募ります。「おかえり」勝手に応援隊です!

小さな一人の思いを集めます。あなたの思いを形にして下さい。ご支援をお願いします。(代表理事 立川さき)

<呼びかけ> 認定 NPO 法人 ドネーションシップわかちあい

<おかえり応援プロジェクト> 未来につながる、いのちの拠点を 守るために!

- ・2024年1月末に中間集約をおこないます。プロジェクトの進捗を随時サイトで紹介します。
- ・ご寄付(2000円以上)は確定申告による「寄付金控除」の対象となります。(詳しくはお問合せ下さい)
- ・最終集約、寄付の実施はサイトで報告します。
- ・ご寄付頂いた方にはプロジェクトの報告と領収証を送付します。



頂いたご寄付は 100%全額「おかえり」に届けます! 当会のサイトから応援寄付ができます! (上のQRコードより)

～誰もが安心して暮らせる社会～

子どもたちがみんな ごはんをお腹いっぱい食べられる 世の中をつくりましょう！

「おかえり応援プロジェクト」に ご支援をお願いします

日本の貧困率は先進国の中で最悪

年間所得が200万以下の世帯が19.7%

300万以下の世帯が34.3%

400万円以下の世帯が47.0%

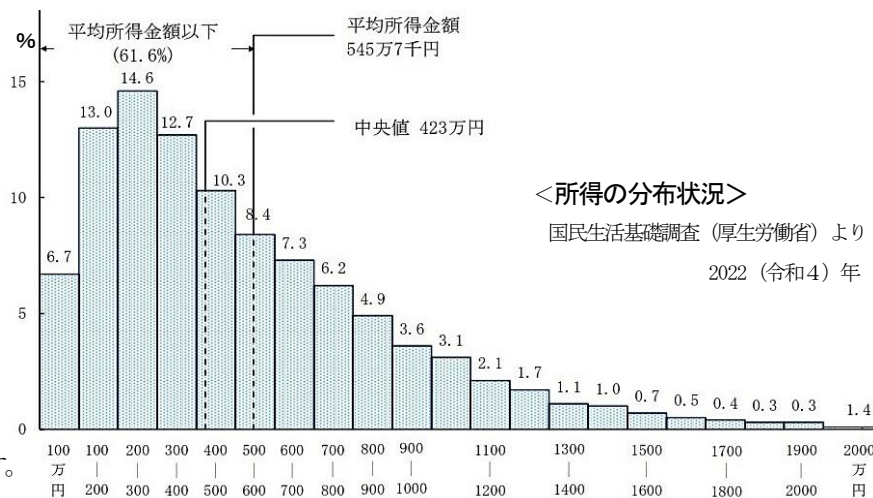
平均所得以下の世帯の割合は61.6%

日本の相対的貧困率は15.4%

国民全体では6.5人に1人が貧困

子どもは8.7人に1人が貧困

ひとり親の2人に1人が貧困



持てる者と持たざる者の二極化が進んでいます。

「強い者勝ち」の社会の仕組みが格差と貧困を

つくり出しています。雇用者の3分の1以上が不安定な非正規雇用におかれ、庶民は日々を生きることに精一杯。65歳以上の高齢者世帯も増える一方です。物価高のしわ寄せは弱い者をさらに追い詰めていきます。暮らしの窮状は自己責任ではありません。

「おかえり」が向き合っているのはこの社会の現実です。人ごとではありません。多数派の庶民どうしが助けあいましょう。支えあいましょう。困った時はお互い様、困った時こそお互い様。そんな人と人とのつながりをこの社会に広げていきましょう。ともに手をとりあって生きるため、子どもたちの未来のために、おかえりの取組みを応援します！

に手をとりあって生きるため、子どもたちの未来のために、おかえりの取組みを応援します！



＜寄付の送金先＞

○郵便振替口座 00940-9-168864 加入者名 ドネーションシップわかちあい

※郵便振替用紙は通信欄に「おかえり寄付」と明記し、お名前・連絡先も明記して下さい

○クレジットカードで寄付することもできます！

<http://donationship.org/>（ドネーションシップわかちあい で検索）

＜寄付する＞をクリックして、「寄付申し込みフォーム」に入力します

「使途指定寄付」を選んで 備考欄に「おかえり応援」と明記して下さい

ドネーションシップ わかちあい

～庶民同士が支えあうための仕組みです～

～ひとりに出来ることは小さいけれど、みんなの気持ちを集めれば、大きな力になる～

「ドネーションシップわかちあい」は2007年にNPO法人として発足しました。「困った時はお互い様」の気持ちを集めて形にします。賛同いただいた方の寄付や年会費を、国内外の貧困・こども・戦争・災害支援などの現場に届けています。

寄付の実績、会計報告はすべて公開しています。詳しくはホームページをご参照下さい。

<http://donationship.org/>（ドネーションシップわかちあい で検索）

▼当会は2020年「認定NPO法人」の認証を受けました。認定NPO法人へ寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。個人の方が年間2000円以上の寄付をされると、確定申告で所得税から寄付金控除を受けることができます。

今回のおかえり応援プロジェクトもその対象となります。会社・法人からのご寄付は、一般の寄付金とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入できます。詳しくはお問合せ下さい。

特定非営利活動法人（認定NPO法人） ドネーションシップわかちあい

〒605-0829 京都市東山区東大路松原上る5丁目月見町3

TEL & FAX 075-555-6398（又は 080-6178-6155）

Eメール yume@donationship.org



～わかちあい 支えあい 明日のくにへ～